

## レセプトチェッカーLS インストール版 Ver. 1.4.0 S138 (build012) リリースノート

この文書は、レセプトチェッカーLSインストール版Ver. 1.4.0 S138導入時の注意事項などについて記載しています。

レセプトチェッカーLSインストール版をご利用の際は必ず目を通していただくようお願いいたします。また、これらの内容はユーザーのフィードバックを受けて更新されることがありますので、随時最新情報をご確認ください（最新情報は [https://receiptcheckerls.info/rn\\_install/](https://receiptcheckerls.info/rn_install/) でご確認ください）。

### 1. 導入についての注意事項

#### 1-1. アップデート適用環境について

レセプトチェッカーLSインストール版 S138更新用Setup.exeを利用される場合は、更新用Setup.exeをダウンロードするためのインターネット環境が必要です。

#### 1-2. インストール方法

##### 【手動更新】

(1) 下記サイトより、レセプトチェッカーLSインストール版更新用Setup.exeをダウンロードします。

レセプトチェッカーLSインストール版最新版のダウンロードサイト

[https://receiptcheckerls.info/ls\\_version/](https://receiptcheckerls.info/ls_version/)

(2) ダウンロードした Setup.exe をダブルクリックで起動します。



上図の「ユーザーアカウント制御」画面が出たら、「はい(Y)」をクリックして進めます。

「いいえ(N)」をクリックすると終了します。

「レセプトチェッカーLSインストール版 セットアップウイザードの開始」画面が表示された場合は「次へ」をクリックします。

使用許諾契約書の同意についての確認画面が表示されます。スクロールすることで、最後までお読みいただけます。



「同意する」にチェックして「次へ」をクリックします。

「レセプトチェッカー-LS インストール版」のアイコンを作成するので、「デスクトップ上にアイコンを作成する」にチェックをいれて「次へ」をクリックします。



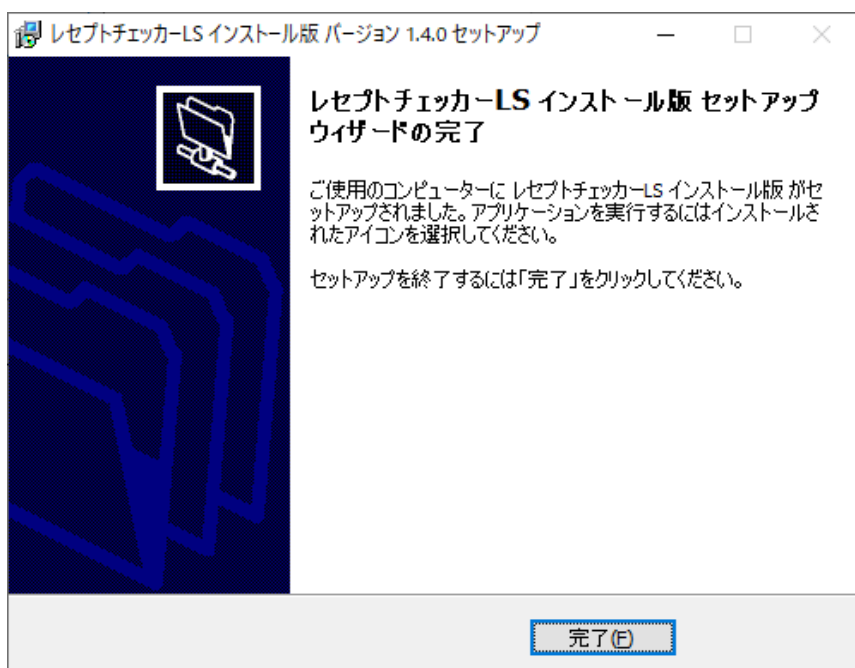
「インストール(I)」をクリックします。



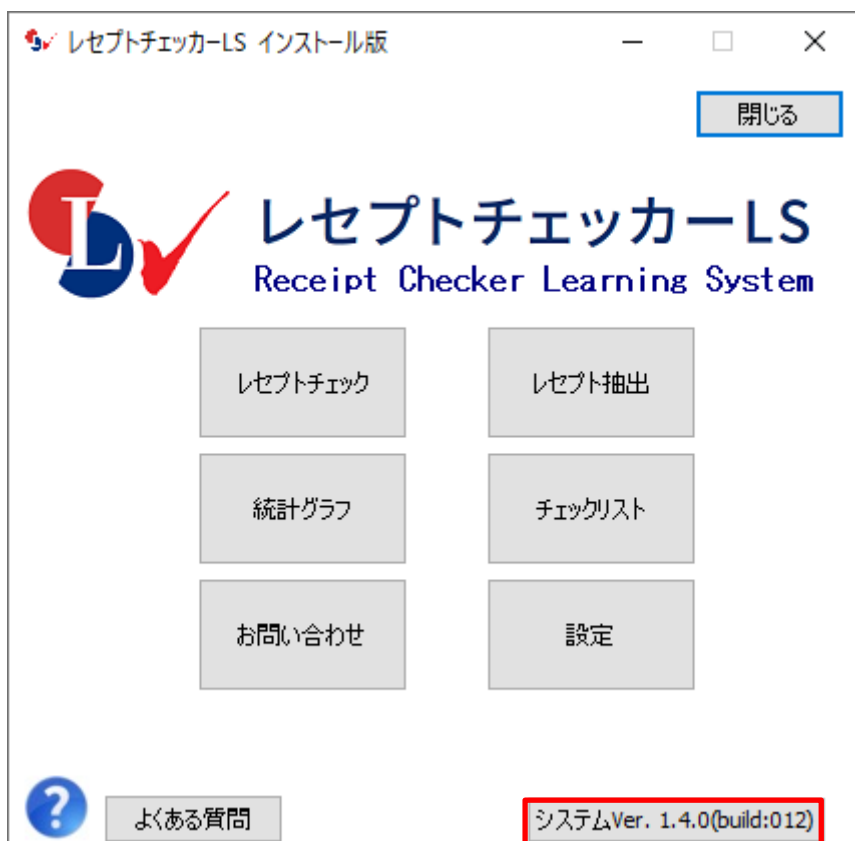
「インストール状況」が表示されます。



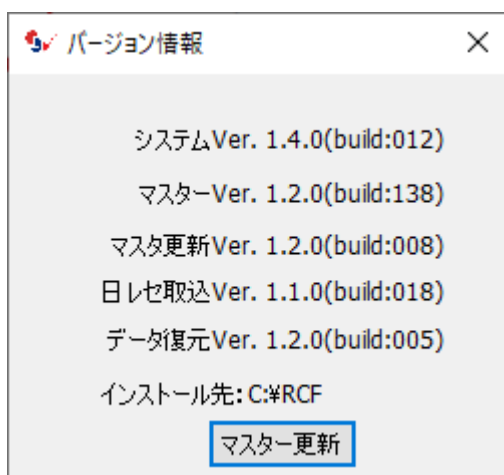
「レセプトチェッカーLS インストール版 セットアップウイザードの完了」画面が表示されます。  
「完了」をクリックして終了です。



(3) レセプトチェッカーLS インストール版のシステムバージョンは Ver. 1.4.0(build:012)になって  
おります。



(4) システムバージョン以外のバージョン情報は、「システム Ver. 1.4.0(build:012)」と表示されたボタンをクリックすると得ることができます。



## 【自動更新】

「システムVer. 1. 2. 0(build:005)」以降のバージョン場合は、プログラム更新とマスター更新（診療行為や医薬品追加）の両方の更新がある場合は、左下図のように表示されますので、選択することができます。プログラム更新のみの場合は、左下図のように表示されます。

マスター更新（診療行為や医薬品追加）のみの場合は、「マスター更新の確認」画面は表示されず、自動的に更新されます。

### 【プログラム更新とマスター更新の場合】



### 【プログラム更新のみの場合】



「システムVer. 1. 2. 0(build:005)」以前のバージョンの場合は起動時に自動的にマスター更新のためのインストール用プログラム(Setup.exe)をダウンロードし、自動でインストール開始します。

以下の画面が表示されますが、「はい」をクリックして進めます。

「レセプトチェッカーFUGA サイトへ」のボタンはプログラム更新後。「レセプトチェッカーLS サイトへ」に変更されます。



上記画面が出ずに、最右下のタスクバーに隠れている場合があります。



その場合は、 をクリックして表示させます。

以降は、【手動更新】の(2)からと同じ展開となります。

## 2. 変更された主な内容

(1) 診療行為及び医薬品が追加されています。

詳しくは、下記サイト「Ver. 1.4.0 build:012\_138 マスター更新 (LSインストール版)」を参照ください。

<https://receiptchecker.ls.info/mn-s138/>

(2) テンプレート設定の「地域包括診療加算を算定して脂質異常症、高血圧症、糖尿病、認知症のいずれかの傷病名が2種類未満の場合抽出する」において、令和4年度改定で、「慢性心不全」「慢性腎臓病（透析を行っていない者に限る）」が追加されました。そのため、抽出条件も「慢性心不全」と「慢性腎臓病」を追加しました。

また、テンプレート設定で従来からある「地域包括診療加算を算定して指定した傷病名が2種類未満の場合抽出する」を使用して、改定で追加された「慢性心不全」と「慢性腎臓病」を追加しても動作は同じになります。

※「慢性腎臓病」において透析に有無は判断していません。

(3) 傷病名の転帰の「中止」について、転帰日が記載されないこともあり、傷病名に含めていたが、初期設定で「中止」の場合は「傷病名に含めない」設定を追加しました。これにより、「含めない場合」は、適応病名があっても「中止」の場合は引っかかる（不合格）ようになります。

### 【具体的な操作方法】

- ① 「設定」→「初期設定」→「レセプトチェック設定」で「レセプトチェック機能設定」画面を開きます。
- ② 「傷病名の転帰で中止の場合は傷病名に含めない」にチェックを入れます。

### 3. 不具合対応

今回のプログラム更新ではありません。